

(2) 予察情報－3 月報

4 月月報(平成29年5月24日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成、半促成のトマトや促成イチゴの生育はおおむね順調であった。果菜類の苗もおおむね順調で、定植が始まっている。ハウス、トンネルのエダマメやスイートコーンはおおむね順調な生育であった。

葉根菜類：コマツナの生育はやや早まる傾向であった。キャベツの生育はおおむね順調であったが、タマネギは乾燥の影響で球の肥大がやや遅れた。

イモ類：ジャガイモの生育はおおむね順調であった。

(2) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

全ての品種で、開花始及び盛は3～4日遅くなった。

新高：開花始 4月10日（+4日）、開花盛 4月14日（+4日）

稲城：開花始 4月10日（+3日）、開花盛 4月14日（+3日）

幸水：開花始 4月15日（+3日）、開花盛 4月19日（+3日）

豊水：開花始 4月15日（+4日）、開花盛 4月17日（+3日）

(3) 茶樹

1～2月及び4月の降水量が前年より少なく、3～4月上旬の温度が低かったため、一番茶摘採期は早生品種を中心に前年より遅く5月中旬から開始され、生葉収穫量については、おおむね、平年並みかやや下回る見込みである。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハマキムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ < 発生時期：並 発生量：並 >
昨年のスギ・ヒノキ球果量は平年並と推定されることから、越冬成虫の数は平年並と思われる。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------	---------	-------------

(3) 野菜の病害虫

トマト（施設）

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ (施設)		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ (露地)		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ (施設)		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
クローバーハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 植木の病害虫

ケヤキのケヤキヒゲマダラアブラムシの発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

三宅島：キュウリでハモグリバエ類、キキョウランでナメクジ類、タマネギでネギアザミウマの発生が見られた。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	4月12日	5月12日	0	0
大田市場	4月12日	5月12日	0	0
板橋市場	4月12日	5月12日	0	0
淀橋市場	4月13日	5月12日	0	0
北足立青果市場	4月12日	5月12日	0	0
青梅青果市場	4月9日	5月10日	0	0
八王子北野市場	4月9日	5月10日	0	0
多摩ニュータウン市場	4月9日	5月10日	0	0
国立市場	4月9日	5月10日	0	0
東久留米市場	4月9日	5月10日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ種用トラップにおいて、北足立市場で1頭のミスジミバエ雄が有殺された。				

5 月月報(平成 29 年 7 月 3 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：ハウスのトマト、キュウリの生育はおおむね順調だが、露地のトマト、ナス等では乾燥の影響でやや遅れた。エダマメやスイートコーンはおおむね順調であるが、一部で発芽の不揃いがみられた。

葉根菜類：コマツナの生育は乾燥の影響でやや遅れる傾向であった。キャベツについても 1 週間程度遅れた。タマネギは乾燥の影響で球の肥大が遅れ、やや小さいものがみられた。

イモ類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

(2) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。東京紅で平年並みとなった。平核無、次郎、松本早生では開花始期及び開花盛期ともに、1日～4日早かった。

平核無：開花始 5月12日(−2日)、開花盛 5月17日(−1日)

東京紅：開花始 5月19日(±0日)、開花盛 5月22日(±0日)

次郎：開花始 5月19日(−1日)、開花盛 5月22日(−1日)

松本早生：開花始 5月19日(−4日)、開花盛 5月22日(−4日)

(3) 茶樹

茶葉の生育は、晩霜害の被害はなかったが、急に気温が低下する日が4月に入っても数日あったこと、降雨が順調であった昨年に比較して降水量が少なかったことなどから、新梢の伸びが昨年より少なく収量は昨年を下回る見込みである。

一番茶摘採期は、おおむね5月9日～22日で例年並みであった。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
カメムシ類	< やや少 >	予察灯における誘殺数は平年並み、フェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

カキ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並みであった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。

チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。
(3) 野菜の病害虫		
ジャガイモ		
疫病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
トマト (施設・半促成)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
褐斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかったが、一部の圃場で多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ (施設)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

モンシロチョウ < 少 > 発生は少なかった。
 アブラムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。
 野菜共通の病害虫
 ネキリムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。
 アブラムシ類 < やや多 > 発生はやや多かった。

(4) 花きの病害虫

花き共通の病害虫
 灰色かび病 < やや少 > 発生はやや少なかった。
 アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

(5) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ
 チャドクガ < 少 > 発生は少なかった。
 ケヤキ
 ケヤキヒゲマダラアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

新島・神津島：アシタバでアブラムシ類の発生が多かった。
 その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	5月12日	6月15日	0	0
大田市場	5月12日	6月15日	0	0
板橋市場	5月12日	6月15日	0	0
淀橋市場	5月12日	6月15日	0	0
北足立青果市場	5月12日	6月15日	0	0
青梅青果市場	5月9日	6月8日	0	0
八王子北野市場	5月9日	6月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	5月9日	6月8日	0	0
国立市場	5月9日	6月8日	0	0
東久留米市場	5月9日	6月8日	0	0

6 月月報(平成 29 年 7 月 26 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

6 月上中旬に植え付けが完了した。植え付け後の生育は順調であった。

(2) 野菜

果菜類：露地のトマト、キュウリの生育はおおむね順調だが、ナスは乾燥の影響でやや遅れた。エダマメは生育や収穫がやや早まる傾向で、スイートコーンはおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナの生育はおおむね順調であった。キャベツは一部で裂球がみられた。

イモ類：ジャガイモはイモの肥大がやや悪く、小ぶりなものが多い傾向であった。サトイモの生育は乾燥の影響でやや遅れた。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下の通り。

安芸クイーン、高尾、巨峰すべてで、平年よりも早めの開花始・盛であった（-2～6 日）。

巨峰：開花始 5 月 25 日（-3 日），開花盛 5 月 29 日（-2 日）

安芸クイーン：開花始 5 月 22 日（-6 日），開花盛 5 月 25 日（-6 日）

高尾：開花始 5 月 22 日（-4 日），開花盛 5 月 25 日（-4 日）

(4) 茶樹

平年より気温が高い日が多く乾燥が続いて、茶樹の生育は遅くなり、2 番茶の摘採は 7 月第 1 週目より始まった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 多 >	発生は多かった。
シンクイムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯における誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ		
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
トマト		
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナス		
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
株腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫
花き共通の病害虫
灰色かび病

< 少 > 発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫
街路樹など
チャドクガ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：トマトでうどんこ病の発生が多かった。また、ハモグリバエ、サビダニ類の発生が目立った。ナスで一部圃場においてチャノホコリダニの発生が見られた。

八丈島：アシタバでミドリヒメヨコバイの発生が多かった。一部圃場では甚発生であった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月15日	7月14日	0	0
大田市場	6月15日	7月14日	0	0
板橋市場	6月15日	7月14日	0	0
淀橋市場	6月15日	7月14日	0	0
北足立青果市場	6月15日	7月14日	0	0
青梅青果市場	6月8日	7月7日	0	0
八王子北野市場	6月8日	7月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月8日	7月7日	0	0
国立市場	6月8日	7月7日	0	0
東久留米市場	6月8日	7月7日	0	0

7 月月報(平成 29 年 8 月 24 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

植え付け後の生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：露地のトマト、キュウリの収穫はおおむね終了となった。ナスは生育前半の乾燥の影響で遅れ傾向であったが、回復してきている。エダマメやスイートコーンは生育や収穫がやや早まる傾向であった。

葉根菜類：コマツナの生育はおおむね順調であった。キャベツの苗床での生育はやや不良であった。ニンジンの一部で発芽が不良であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：天候の影響で、肥大にムラが出ている。

(4) 茶樹

6 月からの少雨のため 1 茶摘採後、新梢の伸びが例年より少なかく摘採時期も遅れていた。しかし、6 月下旬のまとまった降雨により伸長がすすみ、例年以上の 2 茶の収量が得られた。7 月の生育状況は、ほぼ平年並であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 並 >	発生は平年並であった。
いもち病（山間部）	< やや多 >	発生はやや多かった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 並 >	フェロモントラップの誘殺数はやや少なかった。予察灯の誘殺数は平年並であった。
------------	-------	--

クサギカメムシ

< やや多 >

予察灯の誘殺数はやや多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

チャノコカクモンハマキ

< 並 >

発生は平年並であった。

チャハマキ

< 多 >

発生は多かった。

チャノホソガ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ナガチャコガネ

< 少 >

発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

葉かび病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

白ぶくれ症

< やや少 >

発生はやや少なかった。

オンシツコナジラミ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

タバココナジラミ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

タバコガ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

キュウリ

うどんこ病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

べと病

< 並 >

発生は平年並であった。

ナス

うどんこ病

< 少 >

発生は少なかった。

ハダニ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

アブラムシ類

< 少 >

発生は少なかった。

アザミウマ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ニジュウヤホシテントウ

< 少 >

発生は少なかった。

チャノホコリダニ

< 少 >

発生は少なかった。

コマツナ

白さび病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

炭疽病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< 少 >

発生は少なかった。

キスジノミハムシ

< 少 >

発生は少なかった。

ネギ

黒斑病

< 並 >

発生は平年並であった。

ネギアザミウマ

< 多 >

発生は多かった。

ネギハモグリバエ

< 少 >

発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類

< 少 >

発生は少なかった。

アザミウマ類

< 少 >

発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

アブラムシ類

< 少 >

発生は少なかった。

ハダニ類

< 少 >

発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ

<やや少>

発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：キュウリでウリハムシの発生が認められた、トマトでトマトサビダニの発生が多かった。パッションフルーツで一部の圃場において疫病の発生が見られた。

御蔵島：野菜類全般においてコナジラミ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月14日	8月10日	0	0
大田市場	7月14日	8月10日	0	0
板橋市場	7月14日	8月10日	0	0
淀橋市場	7月14日	8月10日	0	0
北足立青果市場	7月14日	8月10日	0	0
青梅青果市場	7月7日	8月7日	0	0
八王子北野市場	7月7日	8月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月7日	8月7日	0	0
国立市場	7月7日	8月7日	0	0
東久留米市場	7月7日	8月7日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、大田市場及び北足立市場で、それぞれ1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

8 月月報(平成 29 年 9 月 25 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

出穂期にあたったが、遅延等はみられなかった。日照不足の影響により葉色が淡い傾向で、また、降雨が続いたため、結実への影響が懸念される。

(2) 野菜類

果菜類：抑制トマトは、節間がやや伸びる傾向にあるが、第一花房の着果は気温が低かったため良好である。ナスは日照不足の影響で、草勢がやや弱く、着花不良があり、収量はやや減少傾向であった。また、8月上旬定植のハウス抑制キュウリでは生育がやや遅れた。

葉菜類：日照不足の影響でコマツナは8月下旬収穫で、収量低下がみられた。キャベツ、ブロッコリー等の苗の生育は概ね順調であったが、降雨が続いたため、一部で定植が遅れた。定植後の生育はおおむね順調であった。いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

根菜類：ニンジンが発芽、生育ともおおむね良好であったが、一部で降雨により、種等が流される被害がみられた。

イモ類：サトイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：

収穫始めは、‘高尾’で6日遅くなった。

‘高尾’収穫始 8月28日（+6日）

ナシ：

収穫始めは、‘幸水’で6日遅く、‘稲城’と‘秀玉’で1~4日早くなった。

‘幸水’収穫始 8月21日（+6日）

‘稲城’収穫始 8月23日（-1日）

‘秀玉’収穫始 8月23日（-4日）

(4) 茶樹

先月から雨が少なく生育に影響が出てきたが、8月の雨により、生育状況はほぼ平年並となった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	< 多 >	発生は多かった。

セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
シンガレセンチュウ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------	---------	-------------

ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや多 >	発生はやや多かった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラヤガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-----------	---------	-------------

(7) 島しょの病害虫

御蔵島：サトイモでシロテンコウモリ幼虫の発生が多かった。

八丈島：アシタバでハダニ類の発生が多かった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	8月10日	9月7日	0	0
大田市場	8月10日	9月7日	0	0
板橋市場	8月10日	9月7日	0	0
淀橋市場	8月10日	9月7日	0	0
北足立青果市場	8月10日	9月7日	0	0
青梅青果市場	8月7日	9月5日	0	0
八王子北野市場	8月7日	9月5日	0	0
多摩ニュータウン市場	8月7日	9月5日	0	0
国立市場	8月7日	9月5日	0	0
東久留米市場	8月7日	9月5日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、大田市場で1頭、淀橋市場で1頭、青梅市場で2頭、東久留米市場で1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

9 月月報(平成 29 年 10 月 20 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

9 月中旬より収穫が始まった。作柄は平年並とみられる。

(2) 野菜

果菜類：抑制トマト、ナスの生育はおおむね順調であった。

葉菜類：コマツナは一部で生育が遅れたが、全体的に順調な生育であった。キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの生育はおおむね順調であった。

根菜類：ダイコン、ニンジンの生育はおおむね順調であった。

いも類：サトイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：‘巨峰’の収穫始は 6 日早く、収穫終は 5 日遅かった。

巨峰：収穫始 8 月 30 日（-6 日）、収穫終 9 月 25 日（+5 日）

ナシ：収穫終は、‘幸水’、‘豊水’、‘稲城’で 3～6 日早くなった。

幸水：収穫終 9 月 6 日（+6 日）

豊水：収穫終 9 月 19 日（+3 日）

稲城：収穫終 9 月 15 日（+6 日）

(4) 茶樹

9 月の生育状況は、日照不足の影響もさほどなく平年並であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 並 >	発生は平年並であった。
紋枯病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。
果樹共通		
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トマトハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

庭木及び街路樹		
チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

御蔵島；サトイモでシロテンコウモリの発生が多かった。
八丈島：2年生以上の作物でカイガラムシ類の発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	9月7日	10月13日	0	0
大田市場	9月7日	10月13日	0	0
板橋市場	9月7日	10月13日	0	0
淀橋市場	9月7日	10月13日	0	0
北足立青果市場	9月7日	10月13日	0	0
青梅青果市場	9月5日	10月3日	0	0
八王子北野市場	9月5日	10月5日	0	0
多摩ニュータウン市場	9月5日	10月3日	0	0
国立市場	9月5日	10月3日	0	0
東久留米市場	9月5日	10月3日	0	0

10月月報(平成29年11月20日)

1 作物生育概況

(1) イネ

中旬には収穫が概ね終わった。作柄は平年並みであった。

(2) 野菜

果菜類：抑制トマト、促成イチゴの生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウは長雨、日照不足の影響で、葉色がやや淡く、徒長ぎみで生育もやや遅れた。また、台風により一部のほ場が湛水し、湿害等の影響がみられた。キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの生育は概ね順調であったが、遅く播種したものはやや生育が遅れた。

根菜類：ダイコン、ニンジンの生育は概ね順調であった。カブは台風の影響で葉に傷みがみられた。

いも類：サトイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

カキ：収穫始めは、平年に比べて‘早秋’で6日、‘太秋’で15日早く、‘伊豆’‘甘秋’は平年並みだった。

収穫終わりは‘太秋’は平年に比べて8日早く、‘早秋’‘甘秋’では平年並み、‘伊豆’では7日遅かった。

‘伊豆’ 収穫始 10月10日（±0日） 収穫終 10月30日（+7日）

‘早秋’ 収穫始 9月27日（-6日） 収穫終 10月16日（+2日）

‘甘秋’ 収穫始 10月16日（+2日） 収穫終 10月30日（+2日）

‘太秋’ 収穫始 10月2日（-15日） 収穫終 10月27日（-8日）

ナシ：収穫終わりは‘新高’で平年並みだった。

‘新高’ 収穫終 10月12日（+2日）

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび・すすかび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハコベハナバエ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。

イチゴ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：露地野菜類全般において台風第21号による塩害がみられた。

新島：農作物被害はまだみられていないが、クワゴマダラヒトリの卵塊や巣網が多数確認された。

八丈島：台風による潮害の影響が大きかった。フェニックス・ロベレニーにおいてオンブバッタ、サンダーソニアにおいてダンゴムシの被害がみられた。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	10月13日	11月9日	0	0
大田市場	10月13日	11月9日	0	0
板橋市場	10月13日	11月9日	0	0
淀橋市場	10月13日	11月9日	0	0
北足立青果市場	10月13日	11月9日	0	0
青梅青果市場	10月3日	11月6日	0	0
八王子北野市場	10月5日	11月6日	0	0
多摩ニュータウン市場	10月3日	11月6日	0	0
国立市場	10月3日	11月6日	0	0
東久留米市場	10月3日	11月6日	0	0

1 1 月月報(平成29年12月22日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：促成トマト、促成イチゴの生育はおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナやハウレンソウは10月の長雨、台風、日照不足の影響で生育が遅れた
キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ハクサイの生育はおおむね順調であ
ったが、一部の地域で遅れているものがあった。

いも類：サトイモの生育は順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病・すすかび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ(施設)

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キャベツ・ブロッコリー

黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
スマレ類		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：トマトの一部圃場でウイルス病の発生が認められた。

八丈島：セロリでハダニ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	11月9日	12月21日	0	0
大田市場	11月9日	12月21日	0	0
板橋市場	11月9日	12月21日	0	0
淀橋市場	11月9日	12月21日	0	0
北足立青果市場	11月9日	12月21日	0	0
青梅青果市場	11月6日	12月8日	0	0
八王子北野市場	11月6日	12月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	11月6日	12月8日	0	0
国立市場	11月6日	12月8日	0	0
東久留米市場	11月6日	12月8日	0	0

1 2 月 月 報 (平成 3 0 年 1 月 2 2 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトはおおむね順調であった。促成イチゴは秋の日照不足の影響で頂花房の花数がやや少ない傾向であった。

葉菜類：コマツナやホウレンソウは低温の影響で生育が遅れた。キャベツ、ハクサイは低温の影響で生育・結球が遅れる傾向であった。

根菜類：ダイコンはやや生育が遅れる傾向であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設・促成)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナミハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：サヤエンドウでうどんこ病の発生が多かった。

小笠原：マンゴー及びレイシでアカオビアザミウマの発生がやや多かった。また、レイシでナンカイヒゲブトナミシャクの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

1 月月報(平成30年2月16日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトはおおむね順調であった。促成イチゴは秋の日照不足の影響で頂花房の花数がやや少ない傾向であった。

葉菜類：コマツナやハウレンソウは低温の影響で生育が遅れた。キャベツ、ハクサイは低温の影響で生育・結球が遅れる傾向であった。

根菜類：ダイコンはやや生育が遅れる傾向であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

小笠原（母島）：トマトでマメハモグリバエの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

2 月月報(平成30年3月19日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトは低温の影響で生育はやや遅れた。特に果実の着色の遅れが目立った
促成イチゴは概ね順調な生育であった。果菜類の苗の生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナやハウレンソウは低温の影響で生育が遅れた。コマツナでは一部地域で
抽苔が多い傾向であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

小笠原：マンゴーでカイガラムシ類の発生がやや多かった。また、トマトにおいてマメ
ハモグリバエの発生がやや多かった。

三宅島：トマトにおいてトマトサビダニの発生が見られた。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 月月報(平成30年4月23日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：半促成・促成トマト、促成イチゴの生育は概ね順調であった。果菜類の苗は順調な生育であった。トンネル早熟のスイートコーンの発芽や生育は順調であった。

葉根菜類：コマツナやハウレンソウは気温が高めに経過したため、生育が早まった。コマツナでは抽苔が多い傾向であった。定植後のキャベツは概ね順調な生育であったが、ノラボウナでは収穫が早まる傾向であった。タマネギは冬季の低温の影響で一部の地域で生育がやや遅れた。

2 病害虫の発生概況

(1) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

(2) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

葉かび病 < 少 > 発生は少なかった。

オンシツコナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

タバココナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病 < 少 > 発生は少なかった。

ケナガコナダニ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

うどんこ病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

ハダニ類 < やや少 > 発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

小笠原：マンゴーにおいてカイガラムシ類の発生がやや多かった。

八丈島：レモンにおいてハモグリガ類による葉の被害が下旬から見られはじめた。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。